



① 敷地内を流れる青川。川遊びは、夏の暑さを忘れさせてくれます ② 木のぬくもりを感じられるログハウス ③ 充実のレンタル品。体験セットを活用すれば、火おこしや燻製づくりなど、初めてのことに気軽に挑戦できます ④ 初めての火おこしセット。黒のファイヤースターターを使って、火打石の要領で麻紐に火をつけます ⑤ 炭火焼ハウスでは、日帰りのバーベキューも可能。気軽に訪れたい人におすすめです ⑥ テントの張り方をレクチャー。スタッフはアドバイスと手伝いに留め、利用者自ら設営してもらうようにしています ⑦ ガーランドの工作体験。子どもたちは木材の色塗りに熱中しました ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ログハウス等の換気・アルコール消毒を徹底しています。レンタル品も一部休止中。詳しくはウェブサイトで確認してください

初心者キャンプのススメ！

楽しむためのポイント

① 予定を詰め込まない！

「あれもこれもやりたい！」と分刻みのスケジュールを立てると、すべてが中途半端になってしまいがちです。料理や川遊びを楽しむならコテージを活用する、テントにこだわるなら食事は簡単なものにするなど、テーマを決めて準備しましょう。

② 失敗を恐れない

初めから完璧をめざすと、挫折しやすくなってしまいます。トライ＆エラーを繰り返し、より良い方法を探るのもキャンプの醍醐味です。

③ 子どもと一緒に挑戦

家族でキャンプをする場合は、「危ないから」と遠ざけず、子どもにも設営や火おこしを手伝ってもらうのがオススメ。ケガをしない範囲で、さまざまなことに挑戦するとより楽しめます。

④ プロに聞く

困ったことがあれば、迷わずプロであるスタッフに声をかけましょう。

覚えておくべき注意点

① 夜の話し声・音楽

気分が盛り上がり、話し声や音楽が大きくなってしまいがちです。開放的なキャンプ場では、自分の声がどこまで響いているか気付きにくいもの。夜はゆっくりと眠るキャンパーも多いので、音量を意識するようにしましょう。

② 熱中症・ムシ対策

夢中で遊ぶあまり、水分補給を忘れてしまわないようにしましょう。キャンプ場にはハチやブヨ、蚊などのムシがいます。ムシよけスプレーをしたり、肌の露出をさけたりと、対策をしておきましょう。

③ ゴミ処理をしっかりと

キャンプのゴミは、必ず処理しましょう。自然を汚さず、次の人も気持ちよく使えるように片付けて帰るのが鉄則です。

プライベートサイトは120㎡で、家族連れでも窮屈さを感じずに楽しめます。アウトドアに慣れていない人も快適に過ごせるように、水道・風呂・トイレといった水回りを整備。広いデッキでくつろげるログハウスや、「食」「遊」「癒」の各テーマに合わせた備品を準備したキャンピングサイト、天候に左右されずにバーベキューができる炭火焼ハウスなど、設備も充実しています。タープやランタン、ダッチオーブンのレンタル品、バーベキューやホットサンドに

必要なものをそろえた食材セットも豊富です。『青川峡キャンピングパークの『パーク』は、施設内の公園を指すだけでなく、『誰もが楽しめる場所にした』という思いを込めています』と金津さん。設備だけでなく、スタッフによるサポートも充実しています。予約時には、必要な準備やレンタル品の相談にのります。センターハウスにはスタッフが常駐。定期的に

キャンパー好きなスタッフが利用者をサポート

巻頭特集

Let's Go Summer Camps!

設備＆サポートが充実の
青川峡キャンピングパーク

オシャレで写真映える道具の登場や、テレビ・雑誌での特集により人気が高まっているキャンプ。

興味を持っている人も多いのではないのでしょうか。

いなべ市にある青川峡キャンピングパークは、設備やサービスが充実。

キャンプデビューの場に最適です。



受付のあるセンターハウスでは、知識豊富なスタッフが利用者を出迎えます。助けが必要な時はセンターハウスを訪ねると、笑顔で対応してくれます

初めてでも困らない 快適で楽しい経験を

敷地内に青川が流れ、鈴鹿山脈を臨む青川峡キャンピングパーク。太陽の光を浴びて輝く川や風に揺れる木々を見てみると、肌に沁む汗も爽快感に思えてきます。

前身は、青川上流のオートキャンプ場です。オートキャンプ場は惜しまれつつも閉鎖。「環境を大切にしながら、地域を盛り上げる新たな施設をつくりたい」という思いから、員弁郡北勢町（現・いなべ市）の施設として、平成15年に青川峡キャンピングパークが開設されました。スパーマーケットやコンビニエンスストアはもちろん、いなべ市内観光スポットとのアクセスの良さが強みです。

「同年代にできたキャンプ場と比べると、テントサイトが広いと思います」と、青川峡キャンピングパークの金津琢哉さん。開放的なオープンサイトは130㎡、仕切りのある

敷地内を回り、困つていそうな人には声をかけます。トラブルなどの緊急時にも頼れるので、安心して過ごせます。

よりキャンプを楽しんでもらうため、家族連れが多い連休中に体験イベントを実施。毎年趣向を凝らした内容が企画されています。昨年開催の炭火で焼き上げる五平餅づくりや、三角の木材を繋げるガーランド工作も人気を集めました。初心者向けのキャンピング講座では、テント・タープの設営やキャンプのマナー・道具の選び方紹介、火おこし体験を行います。キャンピングに対する疑問を解消します。

「自然の中で過ごす良さを知ってほしいです。利用者のフォローやイベント・講座の企画で挑戦のハードルを下げて、キャンプの裾野を広げていきたいです」と金津さんは楽しそうに語ります。興味を持ちながら「準備が大変」「どうすればいいかわからない」と二の足を踏んでいる人は、青川峡キャンピングパークに挑戦してみたいかがでしょうか。非日常の空間で、胸躍る体験ができるかもしれません。

青川峡なら
安心・快適に
キャンプを
楽しめますよ！

青川峡
キャンピングパーク
キャンプライフ
クリエイター

金津 琢哉さん

5年前から青川峡キャンピングパークに勤めています。「仕事は充実していますが、お客さん達を見ていると、自分もキャンプをしたくなってしまう」と笑顔を見せます



information

青川峡キャンピングパーク

TEL 0594-72-8300

住所 いなべ市北勢町新町614

ウェブ
サイトは
こちら

